



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催 〈さくらんぼラウンド〉



H27.10.3 山形中央高校
(Sat)

平成 27年度 北海道・東北ネットワーク研究会が開催されました。時期的に「さくらんぼラウンド」より「芋煮会ラウンド」でしたが・・・。佐藤豊先生、高橋修一先生をはじめ、岩手県2名、秋田県2名、山形県内28名参加のもと、日中・夜ともに、内容の濃〜い、とても充実したラウンドとなりました。

1 トピックス

国立教育政策研究所 高橋修一先生より、中央教育審議会の動向についてお話しいただきました。子供達の未来と現在検討されている次期学習指導要領に示される、これから求められる資質や能力等についての説明がありました。子供の学びへの積極的関与と深い理解を促すような指導や学習環境を設定すること等が大切であるお話しに、参加の先生方は深く頷いておりました。



2 実践発表



続いて、実践発表として、各校種3名の先生方に発表いただきました。
①「一人ひとりが主体的に確かな力をみにつけていく授業の創造 単元構成の工夫からひとりひとりの動きの財産を増やす学習をもとめて」

山形市立第五小学校 原田順子 先生

原田先生からは、小学校2年生の「表現リズム遊び」の指導（H27 全国学体研文部科学大臣賞受賞）について、発表がありました。リズムに合わせて楽しく踊る「ノリノリタイム」話に合わせて即興で踊る「ワイワイタイム」話の登場人物になりきって踊る「変身タイム」による場の工夫により、児童が心を開いて豊かに表現している様子が、動画等でよくわかる発表でした。



②「新学習指導要領に対応した指導と評価の一体化」～三年間を見通したソフトボールを通して～

山形県教育庁スポーツ保健課 井上大介 指導主事

井上先生からは、前任校で実践した、「球技（ソフトボール）」についての発表がありました。三年間を見通した指導と評価の計画を作成し、1年次のテニスラケットを用いた導入時の工夫から3年次の正規ルールでの競技会実施まで、井上先生の計画について述べていただきました。残念ながら異動により1年次の実践で終わってしまったようですが、この計画はきちんと後任の先生に引き継がれたようです。



③「タブレットのアプリを活用した体育授業実践発表とタブレット体験演習」

県立山形中央高校 佐藤若 先生

佐藤若先生からは、アプリを活用した体づくり運動の授業実践について、発表がありました。アプリの活用により、今まで運動メニューが少ない、動きが正確でなく単調となりがちだった授業が、300種類以上の動きの動画や、自分の目的に合わせた計画をタブレットで簡単に作成できることで、生徒の意欲の向上や運動の効果等の知識の定着が図られたということです。参加の先生方もタブレットを実際に操作し、納得していました。



3 まとめ

最後に鹿屋体育大学 佐藤豊教授から、各先生方から発表していただいた事例と、発表に対する各グループの感想や意見について等のまとめをお話しいただきました。まとめの中では、12年間学習する体育の「わかる」と「できる」、インプット（知識）とアウトプット（技能、態度、思考、判断）等による説明があり、そのような指導をすることが子供達の生涯にわたる豊かなスポーツライフに繋がっていく等といった説明がありました。体育学習の魅力と重要性を、参加の先生方は強く感じ取ったようでした。